



SCOUTは2010年4月に「学生がサイエンスコミュニケーションを実践する場をつくる」「科学に対する関心を高める」「科学に興味をもつきっかけをつくる」ということを目指して設立されました。

<http://scout-tsukuba.com>



筑波大学社会貢献プロジェクト



■ 科学遊びラボ

筑波大学と連携している大子町で、小学校低学年を対象にした「夏休み理科おもしろ実験教室」を開催しました。

怪人にさらわれた「こびと」を科学の力を使って救出するというストーリーとし、氷で鍵を作ったり、pHによって色が変わる水溶液を用いて暗号を解きました。子どもたちは、とても楽しそうに実験をしていました。



このほかつくば市内の児童館においても科学遊びラボを複数回開催しました。

■ 筑波大学キッズユニバーシティ

4月の科学技術週間に行われた筑波大学キッズユニバーシティにおいて、色が変わるびゅんびゅんゴマなどの科学工作を行いました。また植物の種子の中のデンプンを調べる実験も行い、小さな子供から保護者までたくさんの方々に参加してもらいました。



■ 被災地での活動

11月22日に筑波大学と連携している南相馬市の上真野小学校においてサイエンス講座を開催しました。この講座は、科学の体験事業を通して子どもたちの興味と関心を深め、知的好奇心や探究心を育むことを目的とした南相馬市の事業です。SCOUTのメンバー9名が講師を務め、上真野小学校5・6年生の37名が参加しました。



静電気の実験や、分光シートを使った万華鏡作成などを行い、SCOUTメンバーと小学生が交流を深めました。

■ ワークショップ

外部講師をお招きして、「伝える工夫」に関するワークショップを開催しました。「伝える内容は?伝えるターゲットは?ターゲットにどのような影響を与えたいか?」と言ったことをワークシートに明示化し、最終的にどのような構成で「電子書籍化」していくかということを考えました。大学内外からの社会人の参加者と学生が一緒になって行うワークショップとなり、非常に盛り上がりました。

